



うさぎ組だより 11月

尚徳福祉会 とちょう保育園



よ~い・どん!



公園の落ち葉が赤や黄色へと色を変え、お散歩が一段と楽しい季節になりました。道中には色とりどりの木の実がたくさんあり、宝探し感覚で散歩を楽しんでいるうさぎ組の子どもたちです。



体を動かすのに最適な秋。うさぎ組では広場やお部屋でミニ運動会を楽しんでいます。まずは「かけっこ」。1歳のころの小股でちょこちょこ走る小走りから、肘を曲げ、腕を前後に振ってしっかり走る幼児の姿に近づいてきました。とはいえ、まだ2歳、3歳の子どもたち。「よーい!」でみんな一斉に走り出し、『どん』だよ~の保育士の声はお空に…(笑)。真剣なお顔、にこにこのお顔でゴールし、「やった~」「もう一回やろう!」と盛り上がっています。ほかにもいもむし競争、玉入れ、座って綱引きなどを行ない、折り紙で作ったメダルももらって、運動会気分を楽しんでいます。



11月の目標

- 安心できる環境の下、十分に自己発揮や表現をする。
保育士に思いを受け止められながら、言葉や表情などで思いを表現することに喜びを感じられるようにしていきます。
- 保育士や友だちと関わりながら一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
簡単なルールのある遊びなど、楽しい雰囲気の中で、自然と友だちと関わり、一緒に遊ぶことに楽しさを感じられるようにしていきます。

かわい瞬間に癒されます! ~ほっこりエピソードをご紹介~2

〇ぴよぴよ

避難訓練をした日、「今日、ぴよぴよしたね」と母ちゃん。子どもたちが被る防災頭巾は、黄色くて頭の部分がちょっとすぼまっっていて、確かにぴよぴよ(ひよこ)みたいです。不安にならずしっかり訓練に参加できるのは、こんな豊かな発想力があるからなのかなあと感心しました。



〇替え歌名人

みんなが大好きな体操「どうぶつでんしゃがやってきた」。歌詞にはうさぎ、さる、りす、ワニが出てくるのですが、子どもたちは「カニさんが乗りました、チヨキチヨキ」や「お姫様が乗りました、キ~ラキラ」など自由に歌を替え、振りもつけて楽しんでいます。



〇おそらへとんでいけ~

保育士の腕などにちょっとした傷をみつけると、「せんせ、ここいたいなの?」と心配してくれるうさぎ組のお友だち。ある日、Gちゃんが「いたいなの、おそらへとんでいけ~」と走っていき……、どこに行くのかなと思ったらゴミ箱にポイッ。戻ってきて「もういたくない?」…痛くてではなく、その優しさに泣いちゃいそうです。



先日は、お忙しいなか保育参観・個人面談にお越しいただき、どうもありがとうございました。今後もお子様の成長を一緒に見守っていかれたらと考えています。これからの方もどうぞよろしくお願いいたします。